

成長そのものと私

アウン・ニエイン・タウン

私が成長という言葉と再び出会ったのはと

ても最近のことです。今年の四月のはじめご

ろ、私は受けた大学に残念なことに落ちてし

ました。たのです。高校まで負りのない道を歩ん

できた自分にと、それは大ショックでし

た。親にも申し訳ないし、受験準備をいろい

ろたすけてくれた先生にも申し訳ないと思

たので、私はとても悲しんでいました。

その日、落ち込みながら、先生に不合格の

知らせをしました。すると、先生は「大丈夫

人はそうして成長するもんだよ。」とおっしゃ

いました。その時からの私はひさしぶりに聞

いた成長という言葉の意味を深く考えるよう

になりました。

薄れた記憶の中から浮かんできたのは私が

子供の時、母の数年ぶりに会う友達が自分の

息子をつれて、家を訪ねて来た時のことでした。

母は友達の子息を見て「この子小さか

たのに今は大分成長したねえ、大人になった
ねえ。」と言いました。それを聞いていた子供
の私はこう思いました。「私も十年ぐらいで
成長するんだ。大人になるんだ。」と。でも、
今はその十年後で十八歳の私はまだまだ成長
していません。自分を大人だと思、ていませ
ん。では、どうすれば私は成長するのでしょ
う。先生がお。しや。たことで人はそうして
成長するというのはどうするものなのかを考
えていました。

先生の話によると私は不合格を経験して成
長に一步近づいたということになります。不
合格というのは確かにつらいことです。私の
人生を変える一方で、私が今まで立てて来た
将来の計画をも、す。かり消してしまいました
た。それだけではなく、私を一年足踏みさせ
たもので卒業を一年遅らせたもののです。もし、
受か。たなら、出会える友達らと離れさせた
もので、先生達と会えるチャンスをも奪。た
もののです。ネガティブに考えれば考えるほど

切りがありません。

「その不合格の中で私を成長させたものは何だろう。その不合格の中のいいものは何だろう。」答えはしばらく見つけられませんでした。でも、時間が経つにつれて差がはきりしてきました。その時の差と今の自分の差です。今の自分はその三ヶ月間ぐらい前の自分より強いのです。負けたのをが、かりしていた、こわが、ていたその時の自分より、現在の自分は負けがこわくありません。その差は成長というものだと私は信じています。

その差は何かと出会うことではじまります。私が不合格と出会、たから、その差ができました。強くなりました。十七歳で留学したから、もと強くなりました。初恋をして初告白で断わられたからこそ強くなりました。大好なおじいさんが死んでからも強くなりました。でも強くな、た理由は悪いことやつらいことだらけでしたが、本当はそれだけだとはかぎりません。

私は家族の中で末、子で姉一人と兄二人が
います。家族全員が末、子の私をいつも守、
てくれて、何でもたすけてくれます。だから
こそ、私は強くなりました。子供の時からい
い友達、互いにたすけ合う、気を配り合う友
達にめぐまれていたことも私を強くさせまし
た。若い時から勉強を頑張、たことも私に自
信を与え、強くさせました。
いいことや悪いこと、うれしいことやつら
いこと、楽しませることや悲しませることな
どとい、た全部が人を強くさせ、いわゆる成
長をさせるものなのです。
でも、その成長というものは何もしなければ
訪れません。何かをやる決めてから、新
しいものごとと出会い、結局のところ、その
何かをすること自体から何らかを学ぶことで、
私達が成長を重ねていくことが人生だと私は
強く思、ています。
人生はとても短いものです。その中で生き
がいを感じられる道を歩むには、迷わずに、

とにかく何かをしてそれから学ぶことが大切
です。学ぶことで強くなり、困難に勇気を持
て向かうことができるのです。

一人の友達が「人生とはくるしみとたたか
うことだ。」と言いました。私にと、てはその
くるしみとはテスト、人生とは授業で、一生
かけて学び、結果はどうであれ、自分が強
くなることで一生かけて成長していくものだ
と心から信じています。

ですから、私はどんなにくるしくても、ど
んなに難しいことでも勇気をふりしぼって、
向かいます。強くなります。成長していきま
す。